

放デイ研修システム

Training System for After-School Day Services ／ 福祉

SOSHIP Apps

放課後等デイサービスの法定研修を、1回15分ずつ。修了書と記録まで残る。



業務の合間の15分で、1ユニット

このアプリについて

放デイ研修システムは、放課後等デイサービスに特化した研修システムです（児童発達支援の事業所でも使えます）。虐待防止、身体拘束等の適正化、感染症・食中毒の予防、業務継続計画（BCP）、安全計画など、放課後等デイサービスの事業所に求められる研修を、職員が日々の業務の合間に受けられます。1回は約15分。短い動画を見て、AIが出す放デイの現場の場面（活動の切り替え、おやつの時間、送迎の車の中、お迎えの時間など）の問いに「自分ならどうするか」を答え、今日の学びと感想を書いて終わります。1回終えるごとに研修修了書（A4一枚）ができ、事業所としての受講の記録も、一覧・Excel・修了書のまとめ保存で残せます。こども性暴力防止法（2026年12月25日施行）の研修には、こども家庭庁の標準動画を使ったコースがあります。マネジメントきづりの中からも、きづりだけをお使いの事業所からも、同じログインIDで入れます。

こんな方へ

放課後等デイサービスの職員・責任者・管理者（児童発達支援の事業所でも使えます。きづり、またはマネジメントきづりをご利用の事業所が対象です）

画面



使い方① マイ研修を開く。次に受ける研修と、年度のあゆみ・バッジが出る（デモ用の架空のデータ）



使い方② 動画を見る（約7分）。見終えると「演習へ進む」が押せる（デモ用の架空のデータ）

くわしい紹介・導入のご相談はこちら

https://app.soship.co.jp/app.php?id=kenshu

導入のご相談：soship.co.jp/contact

放デイ研修システム

放課後等デイサービスの法定研修を、1回15分ずつ。修了書と記録まで残る。

できること

1. 放課後等デイサービスに特化：動画も演習の場面も、放デイの一日（来所、活動の切り替え、おやつ、送迎、お迎え）からつくっている。児童発達支援にも対応
2. 1回約15分のユニット：動画（約7分・字幕つき）→ AIが出す現場の場面の問い → 今日の学びと感想
3. AIシチュエーション演習：職種・役職・経験年数に合わせた場面で「自分ならどうするか」を書くと、良い点と見直す点が返る
4. 標準コース：虐待防止、身体拘束等の適正化、感染症・食中毒の予防、業務継続計画（BCP）、安全計画、避難・消防訓練、ハラスメント防止、個人情報保護・秘密保持
5. こども性暴力防止法の研修：こども家庭庁の標準動画を使ったコースと、放課後等デイサービスの場面で考える現場編
6. 研修修了書：1回の受講ごとにA4一枚。学んだ要点、演習の場面と回答の要旨、ふりかえり、今日の学び、感想が載り、署名欄と確認者の印の欄がある。PDFで保存・印刷できる
7. 年間計画：「誰が・何を・いつ受けるか」を決まりに沿って割り振り。途中で入社した職員の期限にも対応
8. 予定・カレンダー：研修の予定は業務のカレンダーにも入り、予定より前に受けてもよい
9. 進み具合と受講の記録：職員ごとの修了と期限を確かめ、一覧・Excel・修了書のまとめ保存（1つのPDF）で残す
10. 続けやすくする工夫：年度のあゆみ、バッジ、学びのアルバム、事業所全体の修了の割合、拍手とひとこと
11. AIの目安スコアは本人だけが見る。修了書にも載せず、拍手やひとことも含めて、評価や給与には使わない
12. きづりの事業所は放デイ研修システムだけでも利用でき、期限を過ぎた研修はきづりのトップ画面に知らせる

なぜ、つくったのか

放課後等デイサービスの法定研修は、全員を一度に集めて行うのが難しい業務です。こどもが来る前と帰ったあとの短い時間しかなく、途中で入社した職員の分は後回しになり、実施の記録はファイル棚に分かれて残る。「受けたかどうか」を確かめるだけで時間がかかり、運営指導の前に慌てて探すことになります。そして、動画を流して終わりの研修では、明日の支援は変わりません。放デイ研修システムは、1回を15分に区切って毎日の予定に入れられるようにし、放デイの一日から取った場面で考える問いと、自分の言葉で書く感想を必ず通るようにしました。受けた記録は自動で残り、だれが・何を・いつまでに受けるかは責任者の画面で見えます。私たち自身の事業所で使いながらつくっています。

これから

制度も、現場で求められることも、変わり続けます。標準コースは、制度の改正や現場の声に合わせて増やし、見直していきます。期限を過ぎた研修は、きづりのトップ画面にもお知らせが出るようになりました。集合研修や訓練の実施記録も、同じ場所で管理できます。

提供元　株式会社SOSHIP

放課後等デイサービス・学習塾・通信制高校サポート校を自ら運営しながら、現場で必要になった仕組みをアプリケーションとして開発・提供しています。

〒225-0024 神奈川県横浜市青葉区市ケ尾町1158-3 杉田ビル　／　soship.co.jp　／　導入のご相談：soship.co.jp/contact

導入のご相談